

フォーマット・コーデック一覧/代表的な映像フォーマット

ファイルフォーマット	拡張子	概要
AVI	.avi	Audio Video Interleave。Windows標準の動画用ファイルフォーマット(コンテナ形式)で、AVIファイル、AVIコンテナなどと呼ばれている。拡張子は「.avi」である。一部の古いコーデックはWindows Media Playerで再生可能。
MPEG1	.mpg	Moving Picture Experts Group phase 1。MPEG規格の一部。再生時に動画と音声合わせて1.5Mbps程度のデータ転送速度が必要。画質はVHSのビデオ並み。
MPEG2	.mpg	Moving Picture Experts Group phase 2。MPEG規格の一部。再生時に動画と音声合わせて4~15Mbps程度のデータ転送速度が必要。画質はS-VHSのビデオ並み。DVD-VideoやATSCなどの次世代デジタルテレビで利用されている。
MPEG4	.mp4	Moving Picture Experts Group phase 4。MPEG規格の一部。携帯電話や電話回線などの通信速度の低い回線を通じた、低画質、高圧縮率の映像の配信を目的とした規格。規格が広範で現在もお追加・拡張が継続されている。
MPEG4-AVC/ H.264	.mp4	MPEG-4 Part 10 Advanced Video Coding。携帯電話のテレビ電話といった低速・低画質の用途から、ハイビジョンテレビ放送などの大容量・高画質の動画まで幅広い用途に用いられる。従来広く用いられてきたMPEG-2に比べ、H.264を用いると同じクオリティなら概ね半分程度のデータ量で済むよう改良されている。
AVCHD	.mts	PanasonicとSONYが基本仕様を策定したハイビジョン動画記録フォーマット。映像には高効率符号化が可能なH.264/MPEG-4 AVC方式を採用、音声にはドルビーデジタル(AC-3)方式(LPCM:オプション)を採用、多重化にMPEG2-TSを採用。
SWF	.swf	Adobe Flashで作成された再生用ムービーファイルの標準ファイル形式。
WMV	.wmv	Windows Media Video。マイクロソフトが開発したビデオコーデック。DVD(MPEG-2)の約半分のビットレートで同等の画質を得られる。低ビットレートでも映像の破綻が少なく、ストリーミング(ASFコンテナ格納時のみ)にも対応している。
MOV	.mov	Apple社が開発したQuickTimeで使われている動画像のファイル形式。QuickTimeのファイル(movコンテナ)は、トラックと呼ばれるレイヤー構造により、動画・音声のみならず、テキストトラック、チャプタトラックなどを含むことができるが、この構造はMPEG-4のファイルフォーマットであるMP4やJPEG 2000のファイルフォーマットであるJP2などに採用され、そのベースとなっている。
FLV	.flv	Flash Video。Adobe Flashが標準で対応している動画のファイル形式。
ASF	.asf	Advanced Systems Format。Microsoft社によって開発された、ネットワークを通じてストリーミング配信するためのファイルフォーマット。
MP4	.mp4	MPEG-4 Part 14。MPEG-4の動画・音声の記録に用いられているファイル形式。
DivX	.avi	MPEG-4技術をベースに独自に開発したビデオコーデック。MPEG-4 Part 2に準拠した圧縮技術。DivXコーデックは高い画像品質を保ちながら、長時間のビデオを小さいファイルに圧縮できる。「DivX認証」(DivX Certified)が付与されたDVDプレーヤーをはじめ各種家電製品でDivX形式での動画再生が可能となっている。
MXF	.mxf	Material Exchange Format。SMPTE規格によって定義された放送局などプロユースのデジタル映像や音声を扱うためのコンテナフォーマット。

※本表の数値等は、あくまで目安としてご参考ください。